

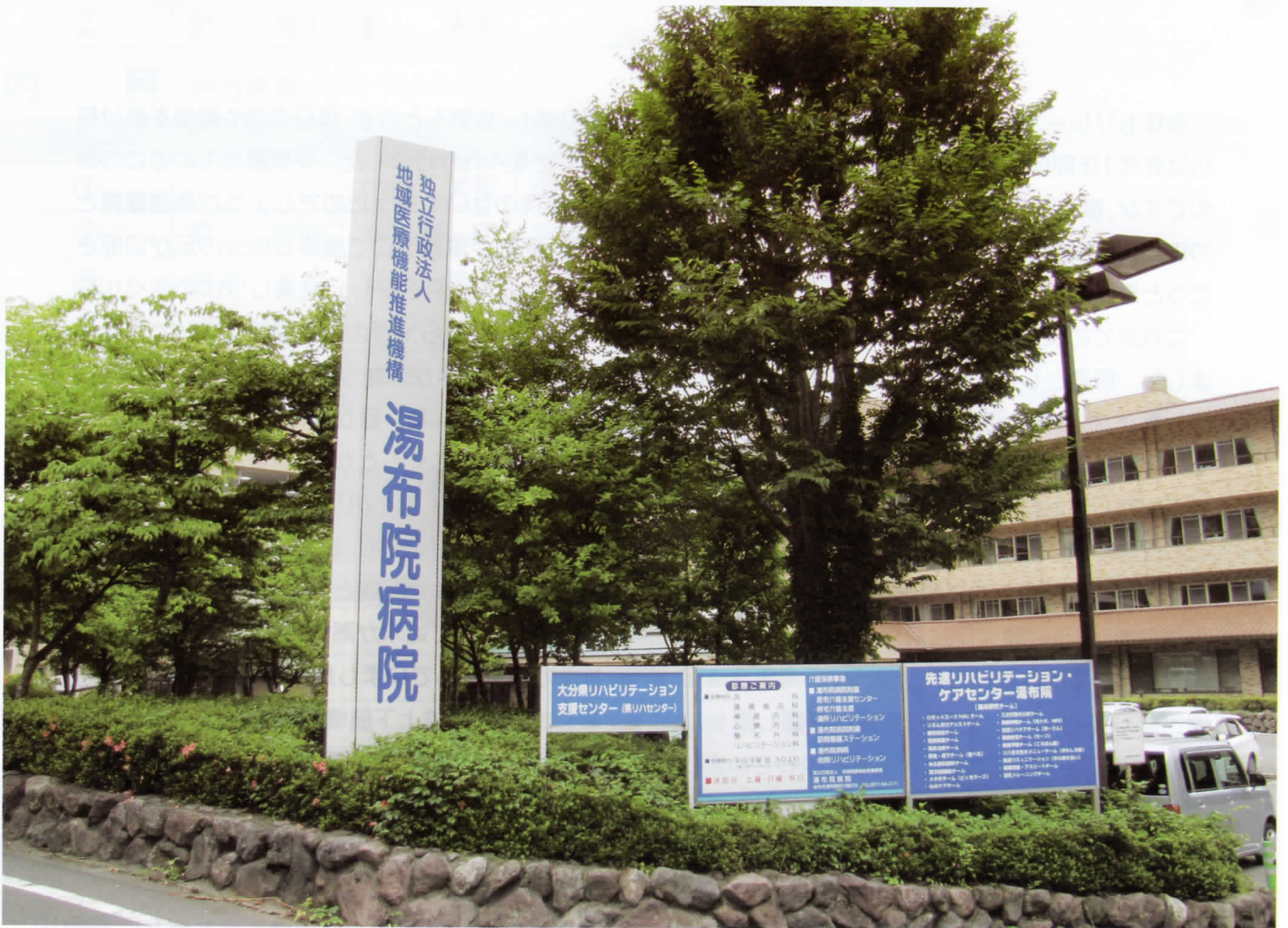
ゆふい だより

第119号

発行/平成26年7月

JCHO湯布院病院
「ゆふいんだより」事務局

郵便番号 879-5193
大分県由布市湯布院町川南252
TEL.0977(84)3171
FAX.0977(84)3969
<http://yufuin.jcho.go.jp/>
E-mail:main@yufuin.jcho.go.jp



皆さん、お変わりないでしょうか？ 5月は大変良い天気が多く、素晴らしい気持ちの良い日が続きました。私は、湯布院の5月が1年で一番好きです。若葉が萌える頃というのはなんともいえず綺麗ですね～。秋も良いのですが、寒くなってくるので、私は初夏の方が好きです。梅雨に入りました。田んぼには水が張られているところや、田植えが済んでいるところもあります。四季の移り変わりは、見ていて気持ちが落ち着きます。

さて私共の湯布院厚生年金病院はこの4月から、独立行政法人 地域医療機能推進機構 湯布院病院と名前が変わりました。そうです。「厚生年金」の4文字がとれました。でも名前が変わっても、病院の運営、診療大勢は変わりません。これまでと同様に、回復期リハビリテーション、内科、整形外科の診療をしていきます。また訪問リハビリテーション、訪問看護ステーション、通所リハビリテーションも同様です。職員の減少で、多少不便をおかけしているところがあるかもしれません。しばらくお時間を頂きたいと思います。徐々にご不便を少なくしていきたいと考えています。

最近湯布院病院の回りを時々歩きます。歩いてみて気付く事は、病院周囲の道路が意外にでこぼこしているということです。梅雨時は雨で道が滑りやすくなっているところもあります。歩く時は、くれぐれも滑ったり、転んだりしないように用心しましょう。転倒して、骨折でもしたら大変です。

梅雨の後は、夏が来ます。湯布院の四季はメリハリがあって、楽しいです。湯布院を訪れた皆さんは、一様に良いところですね～、と言ってくれます。緑にかこまれた、「ゆけむりのさと：ゆふいん」で、素晴らしい環境を楽しみながら、療養やリハビリテーションに取り組んで頂きたいと思います。

院長 犀川 哲典



リレーエッセイ 20

大病から生還して

井上 年夫

今年もリレーエッセイの順番が回ってきました。私は昨年1年間病気のため休職を余儀なくされたのですが、復職できた感謝の気持ちを持って、前号の森先生に引き続いて自分自身の病気について書こうと思います。

これまでの50数年の人生で、何回も死に直面しました。医者として患者の『死』に何度も立ち会いましたが、私自身も何度も『自分の死』に向き合い、その都度何とか三途の川を渡らずにすみましたが、何回経験しても自分の事として考えると恐ろしく感じます。

1度目は、38歳の時に脳出血の為、開頭手術を受けた後、湯布院厚生年金病院にリハビリのために入院。左麻痺は残りましたが歩行や日常生活は可能となり勤務していた元の病院に復職しました。それまでに脳卒中の患者は何度も診療していましたが、自分が麻痺になると、麻痺した手足はとても重く、ただ立って歩く事でさえなんて困難な事なのかなど、身をもって経験し、それまで見えてなかった事が理解できるようになりました。

2度目は、大厄の42歳の時に心筋梗塞を発症。雪の降る寒い夜の新年会飲酒後でした。厄年(男性は25・42・61歳、女性は19・33・37歳)の中でも大厄(男42歳、女33歳)の年は、凶事や災難に逢うことが非常に高いと言われていますが、まさに厄に遭った訳です。この時も当院で心臓リハビリを受け、現在も普通の半分程度しか心臓は動いていませんが、何とか生活できています。

そして3度目は昨年、50歳を数年過ぎ、開腹手術を受け、経過中に心不全を併発、気管切開し人工呼吸器管理となりました。下血や40℃の発熱も

繰り返し、食事もとれず、毎日点滴や輸血を続け棺桶に足を入れかけました。不思議なものでこの時は、薬物のせいもあったのですが意識朦朧となり、病院が爆弾テロで崩壊し自分の足が切断されたり、SMAPとテレビ共演しワニの泳ぐ川に落ちたり、壁から太古の生物が這い出してきたり、宇宙人の侵略者が窓から襲ってくるといった夢を毎日見ていました。目が覚めても、天井の電気から大グモが出てくるとか、担当看護師を宇宙警備隊員と信じ込み、窓の外に侵略者がいるから退治してほしいと言い張り、家内も困惑したと思います。医学的にはせん妄と言いますが、本人は信じ込んでいるので始末が悪く、否定されるとむきになって怒りだしていました。しばらく安静を余儀なくされ、廃用性上下肢機能障害で、立つ事どころか座る事も出来ず、携帯電話や本も重くて持てませんでした。幸い快方に向かい、今回も当院にリハビリ入院し、何とか歩行可能となりこの春から復職しています。

これらの入院を通して、医療を患者側として見つめる事ができ、人間として医師としての大きな転換となりました。これまで様々な人たちに巡り合えたことが幸運であったし、今までの全ての人から生きる糧をもらったと感謝しています。医療は人と人とのつながりで成り立つものです。医療側にも患者側にも診療の全ての瞬間に深い味わいがあり、医療に携わる限りはいつまでもロマンを味わい続けていたいと思います。

次は井上清子先生にお願いします。



漢方薬について

薬剤科 荒木 紀子

漢方薬はなぜ漢方というのかご存じですか?? 中国では古代より薬草や食物、脈などから病人の治療を行っていましたが漢の時代に主な書物がまとめられたので漢方と呼ばれています。主な書物には「傷寒雑病論」「金匱要略」などがあります。

意外なことに現在の中国では日本でイメージする「漢方」というものは存在しないそうです。では中国での漢方はどうなったのでしょうか?? 現在の中国では西洋医学と漢方(東洋医学)のそれぞれを融合した中医学として発展しています。

それでは漢方治療と西洋医学での治療はどう違うのか比較してみましょう。

漢方治療と西洋医学治療の相違



	漢方	西洋医学
治療方針	随証治療 (証という病の流れに従って治療し、風邪でも個人によって証、薬剤は異なる)	病名治療 (病名を決めて治療を行うので風邪なら同じ治療となる)
診察方法	四診 (望診、聞診、問診、切診を行い証を決定する)	主として器具を使う
病の流れ	考える (陽病期、陰病期などがある)	考えない (全体としての流れはあるが、その時点でしか見ないので考えないとする)
副作用	ない (副反応が出た場合は証が間違っていたと考える)	ある
使用する薬物	天然自然の動植物	主として化学合成品
病に対する考え方	体の調和が崩れた状態	主として何らかの要因によって体が侵された状態
治療対象	個人的	大衆的

漢方薬は治療の考え方が西洋医学とは異なりますので自己判断で服用はせず専門家に相談をしましょう。

職
場
紹
介

東2病棟

上段：杉本、中村、小田原、甲斐(広)、陳、吉野、梅木(由)
中断：奈須、國重、大塚、藤田、安部(み)、入部、多田
下段：佐藤(あ)、後藤(美)、近藤、太田、安部(美)



上段：佐藤(美)、浦田、安部(智)
下段：長谷川、江藤(み)、岩尾、秋吉

病院から見える由布岳の緑も鮮やかに、
田園の稲も除々に大きくなってきました。
皆様いかがお過ごしですか？
今回は東2病棟を紹介いたします。

現在、東2病棟は整形外科の手術を中心とした、患者さんの入院をお受けしています。針整形外科部長を中心に医師2名、病棟専従セラピスト14名、MSW1名、看護師23名、介護福祉士4名、看護助手5名で構成されています。看護チームは、「人工関節・肩疾患及び上肢の骨折チーム」と「脊椎疾患・下肢の骨折チーム」の2つチームに分け、より専門的に看護を行っています。

また、手術前には、医師・看護師・検査技師・放射線技師・薬剤師・リハスタッフ・MSW・事務の多職種が集まり手術前の患者さん情報の共有をし、連携を取って入院患者さんのサポートができるチームづくりを行っています。そして手術室看護師は術前訪問で少しでも患者さんの不安の軽減になるよう顔みしりの関係を作り、歯科衛生士が口腔評価を行い歯周病のケアを行っています。高血圧や心臓病・糖尿病の合併のある患者さんには内科医師へいつでも相談でき、身体評価が行えるようになっていきます。さらに栄養サポートチームは術前術後の栄養状態の評価し、患者さんが万全な体調で手術を迎えられ、順調に回復できるように、毎週1回話し合いをもっています。このようにチームのそれぞれの専門職が知識と技術を活かした援助が行えるよう努めています。

今年4月には病棟スタッフの異動と5月から病棟師長の異動がありました。これからも「いきいき、明るい病棟」をモットーに掲げ、手術を受けられる患者さんに対して、病棟スタッフ一同元気で、なお一層気配り・心配りができ、患者さんに寄り添った看護「いつも笑顔で真心こめて」を提供していきたいと思っています。

(東2病棟 近藤眞智子)

リハビリコーナー

自立促進、介護負担軽減に繋がる
福祉用具

「自立促進、介護負担軽減に繋がる福祉用具」シリーズを始めます。

第1回は「ベッド・布団からの起き上がり・立ち上がり、車椅子への乗り移り」です。

vol.1

ベッド・布団からの起き上がり・立ち上がり、
車椅子への乗り移り

朝、起きてからトイレや洗面所、居間へ食事に行くときには、まずベッドや布団から起き、立ち上がった後、車椅子に移ったりします。しかし、病気によりそれが行い難くなったり出来なくなってしまう事で、結果、寝たきりになってしまう恐れがあります。

そこで今回は、起き上がり・立ち上がり、車椅子への乗り移りが自分で行えるよう、また、介護負担軽減に繋げられるように、福祉用具・動作方法をいくつか紹介します。

ベッド・布団からの起き上がり

平らなベッドで起き上がり難い場合、介護用のベッドを使用し、あたま側を上げる事で起き上がりやすくなります(写真1)。布団からの場合、布団のそばに手すりを設置する事で起き上がりやすくなります(写真2)。マヒがない側や手足が強い側へ起き上がるのが基本です。



写真1



写真2

ベッドからの立ち上がり、車椅子への乗り移り

ベッド周囲に手すりを設置し立ち上がりや車椅子への乗り移りを助けます。手すりの種類もたくさんあり、介護用ベッドに取り付け可能なもの(写真3)、床と天井に突っ張って設置するもの(写真4、5)などがあります。



写真3



写真4



写真5

布団からの立ち上がり

布団からの立ち上がりはとても大変であり、転倒する危険性の高い動作です。テーブルや写真2を使用する事で立つ力を補い安全性を高められます。マヒしている側や手足の弱い側の足を立ててから動作を開始するのが基本です。(写真は左手足が弱い場合です。)



福祉用具に関しては担当ケアマネジャーに相談してみましょう。

次回は、「自立促進、介護負担軽減に繋がる福祉用具」～杖・装具～です。



(理学療法士 石井 隆之)

介護の知恵シリーズ

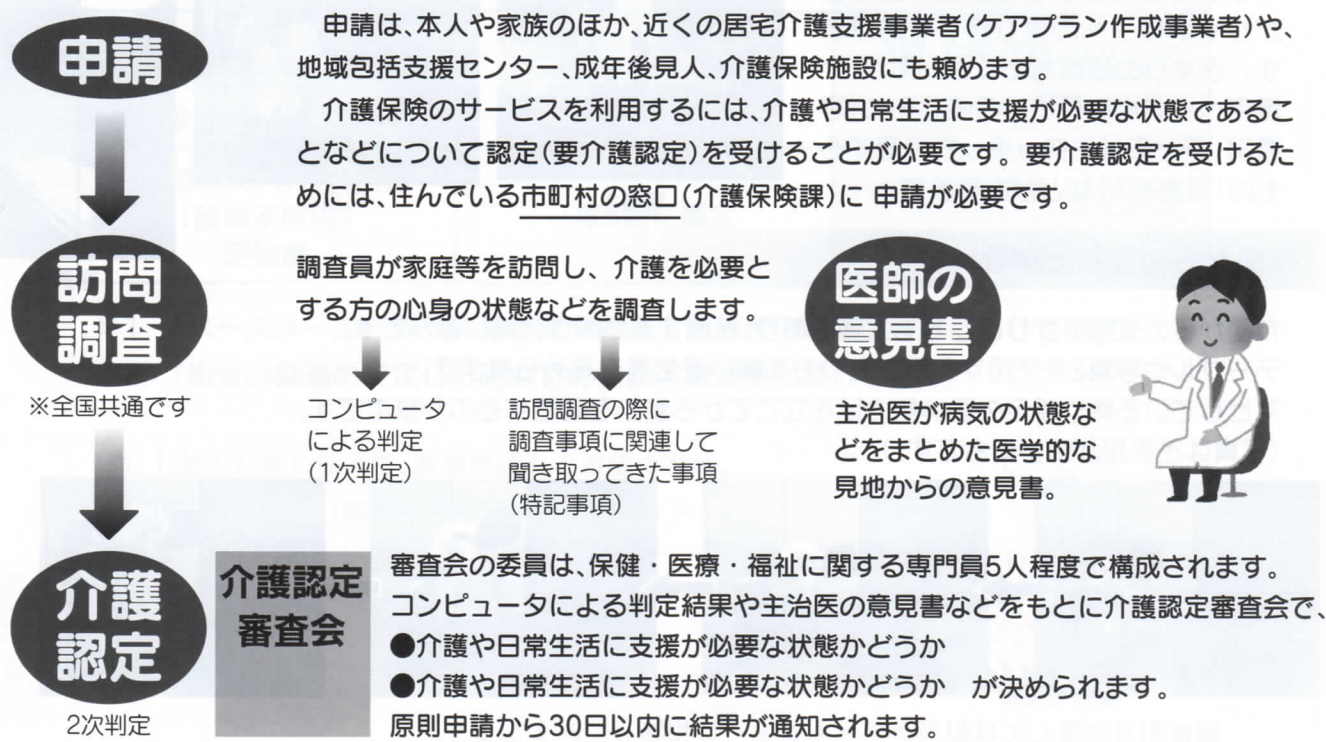
介護保険って何？

季節は夏。みなさん、暑さ対策は大丈夫でしょうか？ 食事、睡眠、こまめな水分補給を忘れずにお過ごしください。さて、私事ではありますが、ご縁がありまして、3月より介護保険の仕事(ケアマネージャー)をさせて頂くことになりました。そこで、介護保険について知っておくと便利な情報をご紹介します。今回は介護保険の対象者と申請方法についてご説明します。

介護保険の対象者

<p>第1号被保険者 65歳以上の方</p> <ul style="list-style-type: none"> ●寝たきりや認知症などで常に介護を必要とする状態(要介護状態)の人であると、市町村の認定を受けた方。 ●常時の介護までは必要ないが、家事や身じたくなど、日常生活に支援が必要な状態(要支援状態)の人であると、市町村の認定を受けた方。 	<p>第2号被保険者 40歳以上65歳未満の方</p> <ul style="list-style-type: none"> ●脳血管疾患など老化が原因とされる16種類の病気(特定疾病)により、要介護状態や要支援状態にあると、市町村の認定を受けた方。 
---	--

要介護認定の申請方法



高血圧予防の食事

減塩について知ろう

高血圧とは…

「高血圧」という言葉を1度は聞いたことがあると思いますが高血圧とは血管に強い圧力がかかる事で安静状態の血圧が慢性的に正常値よりも高くなる状態の事です。

高血圧になると負担がかかるため血管の内側に傷が付いたり柔軟性のある血管が硬くなることで動脈硬化などを引き起こす原因にもなります。

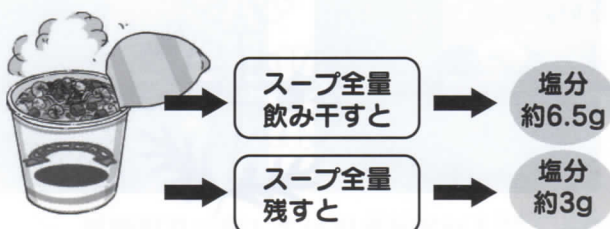
今回は、減塩のポイントをいくつか紹介します。塩分は食べ物を美味しくするためには欠かせないものですが摂り過ぎは高血圧や肥満をはじめとする様々な病気の原因となる為、普段の食事から塩分をコントロールすることが大切です。

減塩のポイント

<p>①新鮮な食材を使う</p> 	<p>②酸味・香辛料を使う</p> 	<p>③汁物は飲み干さない</p> 
<p>④天然だしをとる</p> 	<p>⑤加工食品を控える</p> 	<p>⑥食卓に調味料を置かない</p> 

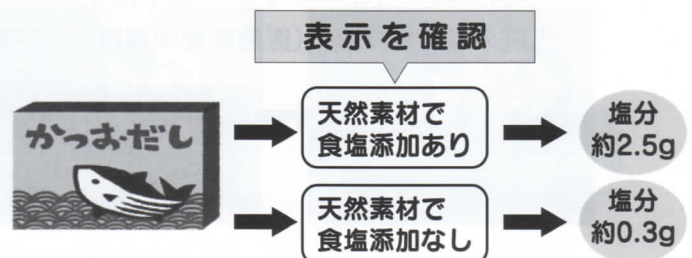
③汁物は飲み干さない工夫

カップラーメンの場合、メーカーによって塩分量は異なりますがスープは全体の約半分以上の塩分を占めています。このことからインスタント麺を食べる場合はスープを残すことがポイントです。また、味噌汁等の汁物は具沢山にして汁の量を減らしましょう。



④天然だしをとる工夫

インスタントのだしは塩分含有量が多い為、天然だしを取り旨味を活かすと少ない塩分で味付けが出来ます。インスタントを使用する場合は“無添加”と記載のあるものを選びましょう。無添加の場合でもメーカーによって塩分量は異なるので塩分表示を確認することが大切です。





身体障害者手帳の一部見直しについて

春の気候からじわじわと日差しも強くなり、初夏の装いを感じる季節となりました。季節の変わり目は温度変化とともに体調も変わりやすいので、皆様体調管理にはお気をつけください。さて、変化のお話をしましたが、今回は平成26年4月より身体障害者手帳の一部見直しがありましたのでその変更点についてお知らせします。

ペースメーカーや人工関節等を入れた方に対する 身体障害者手帳の認定基準変更について

医療技術の進歩により、ペースメーカー等や人工関節等を入れても大きな支障がなく日常生活を送ることができる方が多くなったことを踏まえ、医学的見地から検討を行い、平成26年4月から身体障害者手帳の認定基準を見直すこととしました。

	平成26年3月まで	平成26年4月から
ペースメーカーを入れた方 (心臓機能障害)	一律1級に認定	<u>1級、3級、4級の いずれかに認定</u> ※1
人工関節等を入れた方 (肢体不自由) 股関節・膝関節	一律4級に認定	<u>4級、5級、7級、非該当の いずれかに認定</u> ※2
人工関節等を入れた方 (肢体不自由) 足関節	一律5級に認定	<u>5級、6級、7級、非該当の いずれかに認定</u> ※2

※1 (ペースメーカー等への依存度や日常生活活動の制限の程度に応じて認定)

※2 (術後の経過の安定した時点での関節可動域等に応じて認定)

尚、上記の内容に加えて、新規申請をご希望の方は、
当院の患者相談窓口(医療福祉相談室)へご相談下さい。





院内作品展



田原 成子 様



絵手紙



繁田 柚枝 様

陶 芸

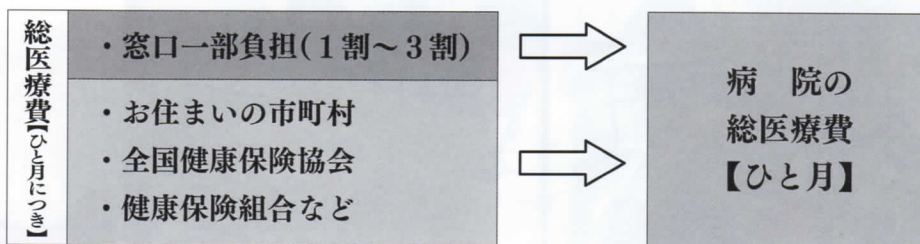


入院の相談窓口

地域連携室

ご存知ですか？

病院診察のとき皆さんは医療費の一部を窓口で負担されておりますが、残りの金額は患者さんが加入されています保険の種類によってお住まいの市町村・全国健康保険協会・健康保険組合などから病院に支払われております。



さて、医療費は診察の内容によって金額が決まっており、計算方法はおおまかに下記の2通りがあります。

①	【出来高払い制度】	診察料(入院料) + 薬剤料 + 検査料 + レントゲン料 + リハビリ料など = 総医療費
②	【包括払い制度】	診察料(入院料)のみ 《薬剤料・検査料・リハビリ料等などは診察料の中に含まれる》 = 総医療費 ※入院料の内容によりリハビリ料等が含まれない場合もあります

診療内容の金額は2年に一度改定があります。ちなみに介護保険は3年に一度の改定です。

当院における入院病棟の内容 【平成26年6月1日現在】

西病棟		東病棟	
西4病棟 回復期リハビリ病棟	【包括払いの病棟】 ※発症から入院までの期間に限定あり	東4病棟 内科病棟	【出来高払いの病棟】
西3病棟 回復期リハビリ病棟	【包括払いの病棟】 ※発症から入院までの期間に限定あり	東3病棟 地域包括ケア病棟	【包括払いの病棟】 ※発症から入院までの期間に限定なし
		東2病棟 整形病棟	【出来高払いの病棟】

出来高払いの病棟
 包括払いの病棟

外来担当医師一覧表

平成26年7月1日現在



整形外科 担当医表

診察室	月	火	水	木	金
①	原 紘一	原 紘一	加来 信広	原 紘一	原 紘一
②	針 秀太	針 秀太		針 秀太	針 秀太

内科 担当医表

診察室	月	火	水	木	金
①		中島 美智	野澤 伸禎	安部 隆子	福永 充
②	森 敏雄	桑野慎一郎	宮崎 吉孝	森 敏雄	井上 龍誠
③	宮崎 吉孝	安部 隆子	井上 龍誠	井上 清子	野澤 伸禎
④	大隈 まり	大隈 まり	大隈 和喜	大隈 和喜	桑野慎一郎
⑤	福永 充	犀川 哲典	井上 清子	大隈 まり	井上 清子
			(健診担当)	(健診担当)	(健診担当)

専門外来 担当医表

診療病名	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師	診療日・時間
リウマチ・膠原病外来	宮崎 吉孝				月曜日・午前
心療内科			大隈 和喜		水曜日・午後
高次脳機能障害外来		中島 美智			火曜日・午後
禁煙外来		井上 清子	大隈 まり		火・水曜日/午後

検査

検査名	月	火	水	木	金
検査名	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師
内視鏡		大隈 和喜 宮崎 吉孝		井上 龍誠 宮崎 吉孝	
腹部エコー			桑野 慎一郎	桑野慎一郎	
心エコー	安部 隆子 (午後)	井上 清子 (午後)	福永 充 (午前)	検査技師 (午後)	検査技師 (午後)
関節エコー	宮崎 吉孝				
頸部・血管エコー	検査技師	検査技師		検査技師	検査技師

受付時間

整形外科 毎週月、火、木、金曜日……………午前8時30分～午前10時まで
 毎週水曜日……………午前8時30分～午前10時まで
 内科 毎週月～金曜日……………午前8時30分～午前11時まで

★高次脳機能障害・禁煙外来・心療内科は完全予約制となっています。

名称変更のお知らせ

平成26年4月から病院名の変更だけでなく、以下の事業所・施設が名称変更されましたので、お知らせ致します。

新名称です

事業所

湯布院厚生年金病院在宅総合ケアセンター
「ムーミン」

湯布院病院附属 在宅介護支援センター

訪問看護ステーション「あさぎり」

湯布院病院附属 訪問看護ステーション

施設

湯布院厚生年金保養ホーム

湯布院病院附属 健康増進ホーム

変わらぬご利用をお願い致します。

しっちゃんがい!

旬の人 味な顔



小さなインフォメーション



西3病棟 諫山 由理

西3病棟へ異動して5年が経ちました。毎日食堂の入口のホワイトボードに、日付や曜日を書き患者さんにお知らせしていました。

ある日、日付だけでなく、どうせなら絵も入れようと思い書き始めたのがきっかけでした。

その日のニュース・季節の風物詩・有名人の似顔絵など書き換えているうちに、段々と患者さんやスタッフから「いつも見てるよ」「とても楽しい絵をありがとう」「ゆりちゃんの絵はいやされるねえ」とたくさんの声掛けをいただくようになりました。元々絵を書く事が好きだったので、このように表現できる場を頂き、自分の描いた絵で皆さんを笑顔にすることができ、みなさんの声が私を元気にしてくれていると感じています。これからも皆さんが喜んでくれて、毎日の活力になれるような絵を書いていきたいと思っています。どうぞお楽しみに(´▽`*)